

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 追分小 ）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

学校運営について理解し、学校教育の現状について意見を出し合うことを通して、学校支援活動の具体的な取組について積極的に話し合い、地域と学校の連携を更に進化させる。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長からの説明は具体的であり、取り組みについて十分理解することができた。本校の弱みを強みに変えていく具体的な手立てや支援のあり方を話し合うことができ、熟議するごとに前に進んでいると評価する。各委員が、責任感を強く抱き、プラス思考で積極的に発言・行動してくれていると、毎回感じている。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

学校支援活動について、教育目標とのつながりや学校・家庭・地域の役割分担など、授業参観や学校側の説明をもとに委員間で活発かつ率直な意見交換ができた。これらのことにより、地域・学生ボランティアの積極的な支援を受けることができ、小規模校らしさを踏まえた活動ができている。委員からの意見がうまく反映されたことで、より一層の協力体制が地域に広がりつつある。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

「学校だより」や「追分応援団」で協議結果を知らせたり、ボランティアや応援団の募集をしたりして情報発信を行っていた。また、保護者や地域、学校が協力して教育活動をするものの効果を載せていた。校内では、掲示コーナーが設置されている。夏には、地元のお祭りに子供たちがブースを設けたことで、地域住民との交流の場が広がった。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

出席委員から、様々な建設的な意見が出ていた。それを具現化するためにはどのような手立てが必要か、今後も学校と地域の連携が更に前進するよう、学校と地域が一緒になって話し合いを深めていきたい。ただし、議論する時間が限られているため、重点をしぼり熟議を進めることも考慮していく必要がある。また、協議結果を職員や保護者へフィードバックし、反応や結果などの報告を受けるなど「相互通行」がなされるようにしていきたい。